

今日のなかはなさん 戦争の話



小学生時代、見に住んでいた利用者様：親は戦争に行っていないから空襲警報がなると近所のおばちんと手つないで音無山に逃げたそうです。「ほれ、静かに上見てお。B29が飛んでまうがよ。」しばらくすると伊勢の方が真赤に花火のように燃えだした。子供心に今でも覚えている。

お父さん、お兄さん近所のお兄さんに小さい赤紙が届いたお話し：入隊セレモニーが字の集会所(寺や神社)であって、「お国の為に頑張る来ます」と挨拶をして拍手と日の丸の小旗で見送った。

戦争が終わって帰ってきたのは、小さい木の箱の中に名前が書いてある紙きれ一枚だけだった。

「戦争がもしはじまりそうになったら

絶対に戦争はいかんと言ってくれ。大事な子やまごを死なせたくない」とお話しされました。



↑ 皆さんが作った花火のほり絵 ↑

ある日の昼食後、「今日のおやつの水まんじゅうと一緒に作りたい方いらっしゃいませんか〜ゆ」と声をかけましたら…「私は食べるだけでいい。」私作ってみよかな? 作れるかな?」手をあげて頂いたおふた此一緒に作りました。「おやつ作りは、町の婦人会でかたさされてよう作ったゆ。祭りや何か行事があると子供達に食べさすゼリーとか作ったよな〜」懐かしいお話しきかせて頂きながら作りました。



ひんやり (フルフル)

